

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月8日
【四半期会計期間】	第47期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	株式会社MARUWA
【英訳名】	MARUWA CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 神戸 誠
【本店の所在の場所】	愛知県尾張旭市南本地ヶ原町三丁目83番地
【電話番号】	0561(51)0841(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 及位 環
【最寄りの連絡場所】	愛知県尾張旭市南本地ヶ原町三丁目83番地
【電話番号】	0561(51)0841(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 及位 環
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第2四半期連結 累計期間	第47期 第2四半期連結 累計期間	第46期
会計期間	自2018年 4月1日 至2018年 9月30日	自2019年 4月1日 至2019年 9月30日	自2018年 4月1日 至2019年 3月31日
売上高 (千円)	19,454,451	20,340,966	41,193,338
経常利益 (千円)	4,750,446	4,176,442	9,924,383
親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益 (千円)	3,233,129	2,868,049	6,770,081
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	3,200,534	2,324,752	6,607,396
純資産額 (千円)	51,956,613	56,930,933	54,954,500
総資産額 (千円)	61,038,615	65,457,491	64,627,522
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	261.53	232.51	547.87
自己資本比率 (%)	85.1	87.0	85.0
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	3,491,852	5,925,452	6,967,287
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	1,142,709	2,105,184	5,691,072
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	273,477	358,379	694,392
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高 (千円)	23,959,633	25,765,423	22,448,368

回次	第46期 第2四半期連結 会計期間	第47期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自2018年 7月1日 至2018年 9月30日	自2019年 7月1日 至2019年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	139.42	109.69

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、日韓関係の悪化、米中貿易摩擦の激化などにより景気は横ばいで推移しました。海外においては、米国経済は底堅く推移したものの、中国経済の減速懸念や英国のEU離脱問題、地政学リスクの顕在化など先行きの不透明感はこれまで以上に強まりました。

当社関連のエレクトロニクス市場では、輸出の減少や設備投資の抑制が続き景況悪化の懸念が続きましたが、車載の電装化や次世代通信規格を見据えた製品など、次世代の成長市場に向けた高付加価値製品への需要は底堅く推移しました。

当社グループは次世代の成長市場に特化し、高い材料技術や製造技術による差別化製品の開発及び拡販を推し進めた結果、売上は堅調に推移しました。利益については、照明機器事業において、将来をみつめ強靱な事業に向けた構造改革費用の増加により減益となりました。

以上の結果、売上高20,340百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益4,148百万円（前年同期比6.1%減）、経常利益4,176百万円（前年同期比12.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,868百万円（前年同期比11.3%減）となりました。

当第2四半期における連結の総資産は65,457百万円となり、前期末と比較して1.3%増加しました。

負債は8,526百万円となり、前期末と比較して11.9%減少しました。

純資産は56,930百万円となり、前期末と比較して3.6%増加しました。

この結果、自己資本比率は87.0%となっております。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

なお第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価管理するため、当社の全社費用等を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算出方法の変更を行っております。そのため、以下の前年同期比については、前年同期の数値を当該変更後の数値で比較しております。

#### セラミック部品事業

当事業における市況は、汎用製品については消費減速や半導体市場の低迷により、在庫調整の長期化、設備投資の抑制が続きましたが、当社が得意とする差別化製品を中心に売上は堅調に推移しました。利益については、半導体関連製品において一部在庫の見直しを行い、約190百万円の減益要因となりました。

以上の結果、売上高15,979百万円（前年同期比1.9%増）、セグメント利益4,420百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

#### 照明機器事業

当事業における市況は、省エネ性が高く環境に配慮した機器への交換需要などが堅調に推移しました。

このような中、高輝度性能や配光性能が向上した製品、高演色光源を採用した製品が好調に推移し増収となりました。利益については、余剰在庫の見直しを行ったことから減益となりました。

以上の結果、売上高4,361百万円（前年同期比15.4%増）、セグメント利益189百万円（前年同期比22.1%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、25,765百万円となりました。  
当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状態とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動から得たキャッシュは5,925百万円となり、前年同期比2,433百万円の増加となりました。主な要因は、たな卸資産が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用したキャッシュは2,105百万円となり、前年同期比962百万円の増加となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用したキャッシュは358百万円となり、前年同期比84百万円の増加となりました。主な要因は、自己株式の取得が増加したことによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、549百万円であります。  
なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

2019年6月26日に提出した前事業年度の有価証券報告書の「資本の財源及び資金の流動性についての分析 財務政策」に記載した内容から重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	26,000,000
計	26,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	12,372,000	12,372,000	東京証券取引所 名古屋証券取引所 (各市場第一部) ロンドン証券取引所 シンガポール証券取引所	単元株式数 100株
計	12,372,000	12,372,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	12,372	-	8,646,720	-	11,683,648

(5)【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
(株)神戸アート	愛知県尾張旭市南本地ヶ原町三丁目83番地	3,587	29.09
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	1,710	13.86
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	794	6.44
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	ルクセンブルグ (東京都中央区日本橋三丁目11番1号)	500	4.05
神戸 誠	愛知県瀬戸市	300	2.43
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口9)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	236	1.92
KIA FUND F149 (常任代理人 シティバンク、エヌ・ エイ東京支店)	クウェート (東京都新宿区新宿6丁目27番30号)	219	1.78
野村信託銀行株式会社(投信口)	東京都千代田区大手町二丁目2番2号	218	1.77
PICTET AND CIE (EUROPE) SA, LUXEMBOURG REF: UCITS (常任代理人 (株)三菱UFJ銀行)	ルクセンブルグ (東京都千代田区丸の内二丁目7番1号)	213	1.72
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番12号	211	1.71
計	-	7,992	64.81

(注) 1. 上記信託銀行の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります(単位:千株)。

日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,710
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	794
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	236
野村信託銀行株式会社(投信口)	218
資産管理サービス信託銀行(株)(証券投資信託口)	211

2. 2019年4月22日付で公衆の縦覧に供されている変更報告書において、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が2019年4月15日現在で以下の株式を保有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期連結会計期間末における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
三井住友DSアセットマネジメント株式会社	東京都港区愛宕二丁目5番1号 愛宕グリーンヒルズMORIタワー28階	株式 722,900	5.84

3. 2019年7月4日付で公衆の縦覧に供されている変更報告書において、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社及びその共同出資者である日興アセットマネジメント株式会社が2019年6月28日現在でそれぞれ以下の株式を保有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期連結会計期間末における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	東京都港区芝公園一丁目1番1号	株式 629,000	5.08
日興アセットマネジメント株式会社	東京都港区赤坂九丁目7番1号	株式 67,600	0.55

4. 2019年9月20日付で公衆の縦覧に供されている変更報告書において、アセットマネジメントOne株式会社及びその共同出資者であるみずほ証券株式会社とアセットマネジメントOneインターナショナルが2019年9月12日現在でそれぞれ以下の株式を保有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期連結会計期間末における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
アセットマネジメントOne株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目8番2号	株式 1,183,000	9.56
みずほ証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目5番1号	株式 24,100	0.19
アセットマネジメントOneインターナショナル	Mizuho House, 30 Old Baily, London, EC4M 7AU, UK	株式 72,200	0.58

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 40,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,320,500	123,205	-
単元未満株式	普通株式 11,400	-	-
発行済株式総数	12,372,000	-	-
総株主の議決権	-	123,205	-

(注)「単元未満株式」の欄には、当社保有の自己株式13株が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株MARUWA	愛知県尾張旭市南 本地ヶ原町三丁目 83番地	40,100	-	40,100	0.32
計	-	40,100	-	40,100	0.32

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	22,627,403	25,940,228
受取手形及び売掛金	<sup>2</sup> 10,266,096	8,896,200
電子記録債権	<sup>2</sup> 1,476,219	1,115,121
商品及び製品	3,161,672	2,725,516
仕掛品	2,337,293	2,561,188
原材料及び貯蔵品	4,277,629	3,374,192
その他	1,430,685	802,584
貸倒引当金	1,920	4,088
<b>流動資産合計</b>	<b>45,575,080</b>	<b>45,410,945</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	12,583,053	12,722,174
減価償却累計額	6,512,559	6,618,467
建物及び構築物(純額)	6,070,494	6,103,707
機械装置及び運搬具	20,957,313	21,629,041
減価償却累計額	16,322,648	16,516,333
機械装置及び運搬具(純額)	4,634,664	5,112,707
土地	4,003,430	4,034,929
建設仮勘定	813,830	1,313,784
その他	4,615,622	4,618,397
減価償却累計額	3,790,482	3,841,324
その他(純額)	825,140	777,073
<b>有形固定資産合計</b>	<b>16,347,560</b>	<b>17,342,202</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	249,423	222,699
その他	283,871	278,462
<b>無形固定資産合計</b>	<b>533,294</b>	<b>501,162</b>
投資その他の資産	<sup>1</sup> 2,171,586	<sup>1</sup> 2,203,180
<b>固定資産合計</b>	<b>19,052,442</b>	<b>20,046,545</b>
<b>資産合計</b>	<b>64,627,522</b>	<b>65,457,491</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,827,288	2,503,992
電子記録債務	1,704,169	1,069,637
未払法人税等	1,590,551	1,448,368
賞与引当金	627,985	643,641
役員賞与引当金	63,000	7,000
その他	2,047,119	2,072,281
流動負債合計	8,860,114	7,744,920
固定負債		
繰延税金負債	452,364	408,906
その他	360,543	372,730
固定負債合計	812,907	781,636
負債合計	9,673,021	8,526,557
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,646,720	8,646,720
資本剰余金	11,994,350	11,992,492
利益剰余金	35,249,658	37,821,474
自己株式	188,864	239,092
株主資本合計	55,701,864	58,221,595
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	117,622	132,045
為替換算調整勘定	864,986	1,422,706
その他の包括利益累計額合計	747,363	1,290,661
純資産合計	54,954,500	56,930,933
負債純資産合計	64,627,522	65,457,491

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第 2 四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 9 月30日)
売上高	19,454,451	20,340,966
売上原価	11,047,244	12,124,683
売上総利益	8,407,206	8,216,282
販売費及び一般管理費	3,987,551	4,067,286
営業利益	4,419,655	4,148,996
営業外収益		
受取利息	13,184	28,652
受取賃貸料	38,518	47,906
為替差益	257,184	-
その他	56,322	20,453
営業外収益合計	365,209	97,011
営業外費用		
為替差損	-	31,667
投資不動産賃貸費用	27,451	26,879
その他	6,965	11,018
営業外費用合計	34,417	69,565
経常利益	4,750,446	4,176,442
特別利益		
固定資産売却益	2,947	1,059
投資有価証券売却益	3,469	-
特別利益合計	6,416	1,059
特別損失		
固定資産除売却損	1,577	28,485
投資有価証券評価損	-	27,510
退職給付費用	11,437	-
特別損失合計	13,014	55,995
税金等調整前四半期純利益	4,743,848	4,121,506
法人税、住民税及び事業税	1,437,390	1,367,200
法人税等調整額	73,329	113,743
法人税等合計	1,510,719	1,253,457
四半期純利益	3,233,129	2,868,049
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,233,129	2,868,049

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	3,233,129	2,868,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,303	14,422
為替換算調整勘定	16,291	557,720
その他の包括利益合計	32,595	543,297
四半期包括利益	3,200,534	2,324,752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,200,534	2,324,752

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,743,848	4,121,506
減価償却費	949,949	1,140,487
のれん償却額	-	26,723
貸倒引当金の増減額(は減少)	624	1,114
環境対策引当金の増減額(は減少)	3,436	-
投資有価証券売却損益(は益)	3,469	-
投資有価証券評価損益(は益)	-	27,510
固定資産除売却損益(は益)	1,370	27,425
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	40,142	-
受取利息及び受取配当金	46,660	31,607
為替差損益(は益)	84,723	5,929
売上債権の増減額(は増加)	578,790	1,620,188
たな卸資産の増減額(は増加)	820,210	1,010,896
仕入債務の増減額(は減少)	158,961	823,121
その他	395,665	207,952
小計	5,508,654	7,323,147
利息及び配当金の受取額	46,654	31,608
法人税等の支払額	2,063,456	1,429,303
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,491,852	5,925,452
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(は増加)	13,832	1,585
有形固定資産の取得による支出	1,391,537	2,081,015
有形固定資産の売却による収入	6,007	1,038
投資有価証券の取得による支出	8,148	2,034
投資有価証券の売却による収入	9,469	-
無形固定資産の取得による支出	30,390	29,023
その他	258,057	7,435
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,142,709	2,105,184
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	1,506	62,145
配当金の支払額	271,970	296,233
財務活動によるキャッシュ・フロー	273,477	358,379
現金及び現金同等物に係る換算差額	84,519	145,095
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,160,185	3,316,793
現金及び現金同等物の期首残高	21,799,447	22,448,629
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,959,633	25,765,423

## 【注記事項】

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

## 1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
投資その他の資産	11,516千円	10,461千円

## 2 四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日又は決済日をもって決済処理をしております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の前連結会計年度末日満期手形等が前連結会計年度末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	94,340千円	-千円
電子記録債権	68,287	-

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
役員報酬	83,224千円	65,905千円
給与及び手当	1,012,926	980,753
賞与引当金繰入額	324,609	317,284
役員賞与引当金繰入額	7,000	7,000
退職給付費用	26,917	23,416
減価償却費	158,794	182,344
研究開発費	419,075	549,191

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
現金及び預金勘定	24,143,638千円	25,940,228千円
預入期間が3か月を超える定期預金	184,004	174,804
現金及び現金同等物	23,959,633	25,765,423

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月26日 定時株主総会	普通株式	271,970	22.00	2018年3月31日	2018年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年10月30日 取締役会	普通株式	296,690	24.00	2018年9月30日	2018年12月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月25日 定時株主総会	普通株式	296,233	24.00	2019年3月31日	2019年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年10月30日 取締役会	普通株式	320,629	26.00	2019年9月30日	2019年12月6日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	セラミック部品 事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,674,713	3,779,737	19,454,451	-	19,454,451
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,627	6,166	9,794	9,794	-
計	15,678,341	3,785,904	19,464,245	9,794	19,454,451
セグメント利益	4,606,847	243,244	4,850,091	430,436	4,419,655

(注)1. セグメント利益の調整額 430,436千円には、セグメント間取引消去 10,894千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 419,542千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	セラミック部品 事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,979,159	4,361,806	20,340,966	-	20,340,966
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,043	24,862	25,906	25,906	-
計	15,980,203	4,386,669	20,366,873	25,906	20,340,966
セグメント利益	4,420,221	189,512	4,609,733	460,737	4,148,996

(注)1. セグメント利益の調整額 460,737千円には、セグメント間取引消去 9,934千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 450,803千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価管理するため、当社の全社費用等を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算出方法の変更を行っております。

前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の利益又は損失の算出方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	261円53銭	232円51銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	3,233,129	2,868,049
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円)	3,233,129	2,868,049
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,362	12,334

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2019年10月30日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....320,629千円

(ロ) 1株当たりの金額.....26円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2019年12月6日

(注) 2019年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月8日

株式会社MARUWA

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大 北 尚 史

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山 田 昌 紀

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社MARUWAの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社MARUWA及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。